

電気工学専攻の竹内嵩さんが電子情報通信学会電磁界理論研究会「学生優秀発表賞」を受賞しました



平成23年度電子情報通信学会電磁界理論研究会の表彰式が2012年5月25日に広島市立大学で行われ、電気工学専攻博士前期課程の竹内嵩さんが「学生優秀発表賞」を受賞しました。

対象論文は、第40回電磁界理論シンポジウムで発表が行われた「FDTD法によるMaxwell-Schrodinger問題の時間応答解析」です。

研究内容は、量子ドットなどのメゾスコピックな問題に対する新しい数値解析法の開発となっています。この報告では、物理的なゲージを変える事により計算時間が従来法より約2倍高速になることを検証し、提案手法を用いて、マクロな電磁場と少数の電子間における相互作用を明らかにしています。これらのことが高く評価され、今回の受賞に至りました。

本研究は日本大学N. 研究プロジェクトの支援を受けて実施されています。

